

- 問1 本州四国連絡橋の整備が、四国地方と本州の間の交通や人々の生活に与えた影響について、背景や仕組みを含めて説明したものとして適切なものはどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. 明石海峡大橋などの開通によって移動時間が大幅に短縮され、京阪神地域と四国を直接結ぶ乗合バスのネットワークが発達したことで、人々の往来が盛んになった。
 2. 橋の整備によって自動車の通行台数は増えたが、維持管理コストを賄うために通行料金が高騰し続けたため、物流の主体は再び船舶による貨物輸送へと戻った。
 3. 本州四国連絡橋のすべてのルートにおいて鉄道が併設されたため、自家用車や乗合バスによる移動よりも、新幹線による旅客輸送が四国全域で最も一般的になった。
 4. 橋の開通によって本州からの観光客は増えたが、四国内の道路整備が遅れたため、乗合バスの利用は徳島県内などの一部地域のみに限定されるようになった。
- 問2 ある地域の地形図を確認すると、耕作地の周辺に「角田池」といった名称の池がいくつも点在している様子が見て取れます。このように、特定の地域で多くの池が人工的に設置されている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 台風による水害を防ぐため、河川からあふれた水を貯めるため
 2. 養殖業を盛んにするために、海水を貯める場所が必要だったため
 3. 年間降水量が少なく、安定した農業用水を確保するため
 4. 冬の積雪が多く、その雪解け水を一時的に貯めるため
- 問3 中国地方の日本海側に位置する島根県の特徴について、正しい説明はどれですか。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 県庁所在地が鳥取市であり、砂丘などの自然景観が有名である。
 2. 県庁所在地が松江市であり、県名と県庁所在地の名称が異なっている。
 3. 県庁所在地が山口市であり、本州の最西端に位置している。
 4. 県庁所在地が岡山市であり、県名と県庁所在地の名称が一致している。
- 問4 中国地方の日本海側に位置する島根県について、陸上で境界を接している都道府県の数と、その具体的な県名の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 3県（鳥取県、広島県、山口県）
 2. 3県（岡山県、広島県、山口県）
 3. 4県（鳥取県、岡山県、広島県、山口県）
 4. 2県（鳥取県、山口県）
- 問5 島根県の産業的特色について説明した文として、統計的な事実に基づき最も適切なものを次のうちから選んでください。 (2019年 島根県公立入試 類似)
1. 観光業に特化した産業構造を持ち、第3次産業の割合が全国で最も高い一方で、県内に温泉地はほとんど存在しない。
 2. 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。
 3. 第1次産業の就業者が半数を超えており、製造業はほとんど行われていないため製造品出荷額の統計が存在しない。
 4. 日本最大級の工業地帯を擁しているため、製造品出荷額が数十兆円に達し、第1次産業の就業者割合は極めて低い。
- 問6 愛媛県今治市でタオルの生産が発展した背景には、製造工程における「水」の質が深く関わっています。この地域の水がタオルづくりにおいて高く評価され、地場産業の発展を支えた理由として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鉄分を多く含む水質を利用することで、独自の重厚感ある色合いを表現することが可能になったため
 2. 年間を通じて水温が非常に低く、染色後の色落ちを防ぐための冷却水として最適であったため
 3. 塩分を適度に含んだ地下水が豊富で、綿糸の強度を高め、速乾性に優れた製品を作ることができたため
 4. 重金属が少なく硬度が低い「軟水」が豊富で、糸を晒したり染めたりする工程で繊維を傷めず柔らかく仕上がるため
- 問7 広島県にある厳島神社の社殿が、陸地ではなくわざわざ潮の満ち引きがある海上の区域に建てられた理由として、最も関連の深い背景を選びなさい。 (2016年 和歌山県公立入試 類似)
1. 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。
 2. 当時の瀬戸内海では水軍の勢力が強く、軍事拠点としての機能を高めるために海上を占拠したため。
 3. 大陸からの使者を迎える際、船から直接参拝できるように利便性を追求した結果であるため。
 4. 木造建築の腐食を防ぐために、常に海水で床下を洗浄できる構造が望まれたため。
- 問8 高知県のなす栽培において、出荷時期を全国平均のピークである夏場から、3月から5月といった春先にずらして出荷している理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏の台風による被害を避けるため、収穫をすべて春までに終わらせる必要があるため。
 2. 他の産地の出荷が少なくなる時期を狙うことで、有利な価格で販売するため。
 3. 大都市に近い立地を活かし、輸送費を抑えて新鮮な野菜を届けるため。
 4. 標高の高い高冷地の涼しい気候を利用して、生育を遅らせる工夫をしているため。
- 問9 香川県丸亀市周辺を含む瀬戸内地域では、平地に数多くの人工的な池である「ため池」が点在しています。この地域でため池が作られてきた理由として、気候的な背景と土地利用の関係を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 中国山地や四国山地によって湿った空気が遮られ、年間を通して降水量が少ない中で、稲作に必要な水を確保するため。
 2. 冬の季節風の影響で雪が多く降るため、春先の雪解け水を貯蔵して工業用水や生活用水として活用するため。
 3. 広大な台地が広がり地下水の水位が非常に低いため、深い井戸を掘る代わりに雨水を貯めて畑作に利用するため
 4. 梅雨や台風による大雨が頻繁に発生するため、急激に増えた雨水を一時的に貯めて下流域の洪水被害を防ぐため。
- 問10 高速道路や新幹線などの交通網の整備が地域社会に与える影響について、「時間距離」という用語を用いて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
1. 目的地までの最短ルートを整備し、地図上の直線距離を短くすることを時間距離の短縮という。
 2. 情報通信技術の発達により、瞬時に情報を伝達できる仕組みを時間距離の短縮という。
 3. 交通機関の高速化によって目的地までの移動時間が短くなることを、時間距離の短縮という。
 4. 移動にかかる費用を削減し、安価に遠方へ行けるようにすることを時間距離の短縮という。
- 問11 ある県の農業産出額の内訳をみると、総額約4409億円のうち、野菜が約1611億円と最も大きな割合を占めており、次いで畜産が約1340億円となっています。一方で果実は約111億円にとどまっています。この統計が示す高知県の農業的特徴について、正しい説明はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 高冷地の冷涼な気候を活かしてレタスなどの収穫時期を遅らせることで、野菜の産出額を高めている
 2. 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている
 3. 大都市に近い立地を活かしてコマツナなどの鮮度が重要な野菜を生産し、産出額を高めている
 4. 広大な平野を利用した大規模な機械化により、米を主産物として野菜と組み合わせている
- 問12 本州の最西端に位置する県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれか。この県は中国地方に属し、特産品のふぐや、石灰岩が地表に露出したカルスト地形で知られる秋吉台がある。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 福岡県は、九州地方の交通の要所であり、博多織や明太子の生産が盛んである。
 2. 山口県は、錦帯橋や秋芳洞などの観光資源が豊富で、伝統工芸品の赤間すずりも有名である。
 3. 広島県は、瀬戸内海沿岸でカキの養殖が盛んであり、平和記念公園があることで知られる。
 4. 岡山県は、温暖な気候を利用したマスクットや桃の栽培が盛んで、倉敷の美観地区がある。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 明石海峡大橋などの開通によって移動時間が大幅に短縮され、京阪神地域と四国を直接結ぶ乗合バスのネットワークが発達したことで、人々の往来が盛んになった。	本州四国連絡橋の整備、特に神戸・淡路・鳴門ルートの実成は、四国地方の生活圏を本州側に拡大させる大きな要因となりました。橋を通じて陸路での移動が24時間可能になり、所要時間が短縮されたことで、高速道路を利用する乗合バスが数多く運行されるようになりました。これにより、通勤や通学、ショッピングや観光といった目的での県境を越えた移動が容易になり、経済や文化の結びつきが強まりました。
問2	答え 3 年間降水量が少なく、安定した農業用水を確保するため	瀬戸内地方のような降水量の少ない地域では、川から引ける水の量に限りがあるため、人工的な貯水施設である「ため池」を築いて農業用水を管理してきました。地形図上で多数の小さな池が描かれているのは、こうした気候的制約を克服しようとした地域の歴史的背景を反映しています。
問3	答え 2 県庁所在地が松江市であり、県名と県庁所在地の名称が異なっている。	島根県は、県庁所在地が松江市です。中国地方の他県（鳥取・岡山・山口）が県名と同じ都市に県庁を置いているのに対照的であり、試験では隣接する鳥取県（県庁所在地は鳥取市）と混同しないよう注意が必要です。松江市は宍道湖に面した城下町としても知られています。
問4	答え 1 3県（鳥取県、広島県、山口県）	島根県は、東側で鳥取県、南側で広島県、西側で山口県の合計3県と陸上で隣接しています。岡山県は島根県とは接しておらず、鳥取県と広島県の南側に位置しているため、混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 2 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。	島根県は、第1次産業の就業者割合が約8%と、全国平均よりも高い水準を維持しているのが大きな特徴です。製造業においては、特殊鋼や電子部品などの分野を中心に約1兆円強の出荷額を記録しています。加えて、玉造温泉や有福温泉など43箇所の温泉地といった観光資源も、地域の産業を支える重要な要素となっています。愛知県や大阪府のような大規模な重化学工業地帯とは異なる、農林水産業と製造業、観光業のバランスが取れた構造を理解することが重要です。
問6	答え 4 重金属が少なく硬度が低い「軟水」が豊富で、糸を晒したり染めたりする工程で繊維を傷めず柔らかく仕上がるため	今治市を流れる蒼社川などの伏流水は、不純物が非常に少ない軟水です。この良質な水を使用して綿糸の不純物を取り除く（晒す）ことで、綿本来の柔らかさと高い吸水性が引き出されます。地域の自然環境（水質）を活かして高品質なブランド化に成功した事例として、地理の産業学習において頻出のポイントです。
問7	答え 1 宮島そのものが神体として崇められており、神聖な土地を削ったり傷つけたりすることを避けるため。	古くから宮島（厳島）は島全体が神として崇拝される「神体山」のような存在でした。そのため、神聖な陸地に直接柱を立てたり建物を建てたりすることを恐れ、海上に社殿を築いたとされています。これは自然崇拝の考え方が建築の形態に大きく影響を与えた事例といえます。
問8	答え 2 他の産地の出荷が少なくなる時期を狙うことで、有利な価格で販売するため。	野菜の価格は、市場に出回る量（供給）と買いたい量（需要）のバランスで決まります。多くの地域が露地栽培で収穫する夏場は供給量が増えて価格が下がりますが、高知県のように温暖な気候を利用して他の地域が生産できない冬から春に出荷することで、高い市場価格で販売し、農家の利益を増やすことができます。
問9	答え 1 中国山地や四国山地によって湿った空気が遮られ、年間を通して降水量が少ない中で、稲作に必要な水を確保するため。	瀬戸内海沿岸の地域は、北側を中国山地、南側を四国山地に挟まれています。この地形の影響で、夏と冬の季節風が運んでくる湿った空気がそれぞれの山地で遮られるため、雲が発生しにくく年間降水量が少なくなります。特に成長期に大量の水を必要とする稲作を行う際、自然の降雨だけでは不足するため、古くから人工的な「ため池」を建設して水を確保する工夫がなされてきました。水害を防ぐ目的ではなく、あくまで農業用水の貯蔵が主目的である点が重要です。
問10	答え 3 交通機関の高速化によって目的地までの移動時間が短くなることを、時間距離の短縮という。	地理学における距離には、キロメートルなどの単位で表す「物理的距離」のほかに、移動にかかる時間で表す「時間距離」があります。新幹線の開通や瀬戸大橋のような大規模な橋の整備によって、従来よりも早く目的地に到着できるようになることを「時間距離の短縮」と呼びます。これにより、以前は遠くて行けなかった場所が日帰り圏内に入るなど、人々の生活範囲や経済活動の範囲が拡大します。
問11	答え 2 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている	高知県の農業は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を最大限に活用している点が最大の特徴です。統計データにおいて、果実よりも野菜の産出額が圧倒的に多いのは、ピーマンやなすなどの促成栽培が極めて盛んであるためです。同じ四国地方でも、愛媛県などは果実（かんきつ類）の割合が高くなるため、統計上の違いに注意が必要です。
問12	答え 2 山口県は、錦帯橋や秋芳洞などの観光資源が豊富で、伝統工芸品の赤間すずりも有名である。	山口県は本州の最西端、中国地方の西部に位置しています。日本最大級のカルスト台地である秋吉台や、その地下に広がる鍾乳洞の秋芳洞、さらに岩国市の錦帯橋や、城下町として知られる萩の町なみなど、多くの名所があります。下関市のふぐや、伝統工芸品の赤間すずりも山口県を象徴する特色です。